

市民財団 ニュースレター

理事長挨拶



熊本芸術文化学術振興市民財団
小野友道理事長

◆コロナ禍の中の文化活動◆

熊本の文化活動を担っておられる会員すべての皆様のご苦勞を想つと、やりきれない気持ちでいっぱいです。私は大学で少し講義を担当しています。「先生。この画面を学生皆が観ていますから、さあ、九〇分お話し下さい」と、誰もいない部屋で一人画面に向かって話す味なさを味わっています。ましてや芸術的パフォーマンスは、観客の眼、吐息などを、或いは賑やかに、或いは静謐の中で、全身で感じながら

編集・発刊
一般財団法人
熊本芸術文化学術
振興市民財団
〒862-0959
熊本市中央区白山 1-6-31
TEL 096-366-5151
FAX 096-372-1857
E-mail official@kobai.jp
編集責任者 小野 友道
編集事務局
令和3年8月20日

令和3年号

だと想像致します。皮膚という感覚器が、観客をして鳥肌の立つ感動で反応する、それはやはり対面でありましょう。最後に鳴り止まぬ拍手が聞こえてきます。

一方で、リモートで行う活動の中からも、今までにない文化の発信が試みられるべきでしょう。特に劇場などに足を運べない沢山の若い学生諸君などに一流の芸術の存在を広く知って頂くこととなります。新しい文化発信の手段として前向きに考えたいものです。

会員の皆様、今はマグマを貯え、鳥肌立たせる日を待ちましょう。

* * * * *

この一年も、文化活動全般において試練の年となりました。コロナ禍での文化活動再生を目指すも、繰り返し感染拡大と収束の波により、不安定な地盤の上での取組みが続いています。文化活動と感染防止の両立に挑戦し、新たな形を取り入れ創造された文化が熊本に生まれることを願います。(事務局)

◆第八回市民財団 奨励賞が決定◆

「第八回市民財団奨励賞」二作品が上記のとおり決定しました。この賞は熊本において発表された芸術・文化・学術の分野で功績のあった作品に表彰状と賞金十万円が贈られます。

第八回奨励賞を受賞したのは、「70周年記念発表会2020スペシャル『We Love Ballet!』」(熊本バレエ研究所 伴 征子)、「長谷校ゆかりの三味線披露演奏会」(くまもと大邦楽祭 実行委員会)の二作品です。コロナ禍で多くの制約を受けて開催された作品の中から、会員推薦の二四作品(重複含む)より、大江捷也副理事長らでつくる選考委員会(お栗子の香梅白山本社にて四月六日開催)で選ばれました。

※開催を予定していましたが贈呈式および受賞者による記念公演は、開催自粛となりました。令和四年三月に第九回市民財団奨励賞選考委員会が予定されています。一月に推薦用紙を事務局からお届けしますので、会員の皆様による沢山の推薦をお待ちしております。

◆第八回市民財団奨励賞 受賞の言葉

70周年記念発表会2020スペシャル『We Love Ballet!』
熊本バレエ研究所代表 伴 征子



伴 征子 代表

この度は、「熊本バレエ研究所創立70周年記念発表会2020スペシャル『We Love Ballet!』」に、第八回市民財団奨励賞をいただきまして誠にありがとうございました。思いがけない光栄なことに、研究生、保護者、教師、スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。

「創立七〇周年という長きにわたる活動を続け総合芸術としてのバレエを高めてこられました・・・心豊かで『元気の出るバレエ』で多くの人々に夢と勇気と感動を与えた」など、身にあまるお言葉は何よりの励みです。

七〇年の歴史は決して平たんな道は



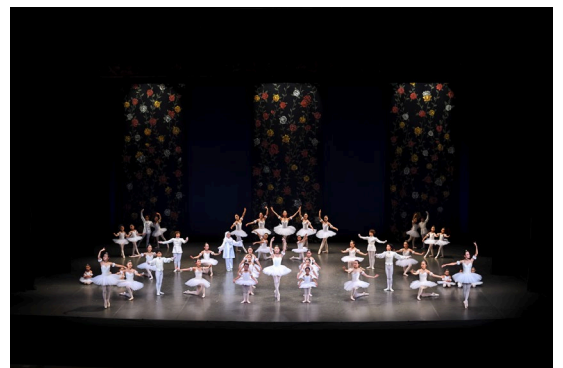
Part1 カーテンコール

かりではなかったものの、その折々に集まった子どもや若者たちの踊る「喜び」は次へ次へと運ばれ、熊本バレエの今日の「賑い」となっています。縁あって熊本バレエ研究所に青春を託した沢山の若者たちが、その時代その時代に集い元気なバレエ研究所になったことを思うと感無量です。そして、いつも成長を見守ってくださる皆様のまなざしは、「ふる里のあたたかさ」です。本当にありがとうございました。

世界中で愛されているバレエは、熊本城が出来た今からおよそ四百年前、フランス・ルイー四世の時代に始まります。舞踊がお好きな王様は、とうとう舞踊学校を作りました。そこで考案された「5つのポジション」に代表さ

れるようにバレエのレッスンはとっても厳格です。子どものバレエといえどもやはり奥深く、一朝一夕ではありません。でも、研究生たちは大好きなバレエを続けることは時には勇気ある決断を迫られることになって、こつこつと稽古に励みます。新たな目標である舞台の本番に向けて励む姿は、本当に崇高で愛おしく敬服します。

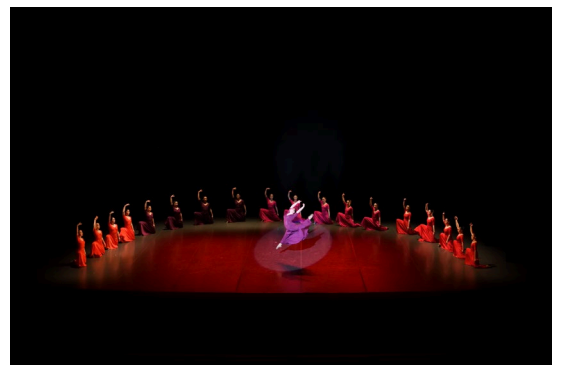
この度の奨励賞の文言にもありますように熊本バレエ研究所は、これまで中国・上海市舞蹈学校との芸術・交流をはじめ、海外における国際音楽祭への参加やバレエ団体との交流・公演・舞踊家の招聘など積極的に行い、国際交流とその育成に取り組んでいます。現在はコロナ禍の中、残念ながらそのほとんどがお休み状態です。近いこ



〈レ・プティ・リアン〉より

ろでは、久し振りにドイツ青少年国際音楽祭の参加を考え準備にかかった時に熊本地震となり、これも今のところお預けとなっています。新型コロナウイルスの収束は、まだまだ時間を要することでしょう。世界的規模のコロナ禍の中、かつて楽しかった交流を思い出し、自分を奮い立たせた出来事に思いをはせるなど、今を生きている新しい発見の気付きになり、意外な出会いになるかもしれません。

バレエを楽しむ子どもたちはこれからも、バレエを通して、それぞれの人生にたくさん幸福をもたらすことを願い、今回の素晴らしい賞を大きな励みに「賑い」の輪を大切にしながら教師・スタッフ一同精進してまいります。心より感謝し、厚く御礼申し上げます。



ボレロー創立70周年祝典の舞一 (振付/石井清子)

選考理由

創立七〇周年という長きにわたり活動を続け、総合芸術としてのバレエを高めてこられました。またコロナ禍で制約の多いなか「70周年記念発表会2020スペシャル We Love Ballet!」では、バレエは目で見る音楽と提唱する通り芸術性の高い心豊かで「元気の出るバレエ」で多くの人々に夢と勇気と感動を与えました。バレエに懸ける情熱は熊本の文化土壌を豊かにする原動力にもなっていると随所で感じます。

これまで中国・上海市舞蹈学校との芸術・教育交流をはじめとして、海外における国際音楽祭への参加やバレエ団体との交流・公演、舞踊家の招聘など積極的に行い国際交流と育成に真摯



熊本バレエ研究所パンフレット 2020サマーバレエコンサートより

に取り組みられています。このような取り組みの継続と今後益々の活動に期待します。



〈 Coppélia・ディヴェルティスマン 〉より

一九七五年から取組まれてきた熊本バレエ劇場の『くるみ割り人形』。毎年心待ちにされている方も多い公演ですが、新型コロナウイルスの影響により今年も昨年に引続き「お休み」が決定されています。劇場での生の感動を味わうことは叶いませんが、熊本県立劇場のホームページで以前の公演(ダイジエスト版)を観ることが出来ます。様々な媒体で芸術が発信されています。コロナ禍でもご自身の芸術体験をぜひ深めて下さい。

◆第8回市民財団奨励賞

受賞の言葉

長谷検校ゆかりの

三味線披露演奏会
くまもと大邦楽祭実行委員会



二〇二〇年は熊本が生んだ地歌三絃界の名人 長谷幸輝検校の没後百年を数えました。

後進の育成に力を注ぎ九州系地歌演奏家の活躍を促した検校の元へは名曲「春の海」の作曲者である宮城道雄をはじめ、全国の名人が教えを乞いに足を運んだと言われています。検校の功績を記念し、一九九三年から実施するくまもと全国邦楽コンクールは本年度二十六回を数えます。

昨年十一月二十三日、検校の没後百年を記念した演奏会「百年の時を甦る幻の音色」には、二〇一八年に発見さ

れ実行委員会の手で修復された検校遺愛の三味線が初披露されました。

九州系地歌を継承する藤本昭子さんによる地歌「黒髪」の演奏は、泰勝寺を舞台に百年の歳月を超えて在りし日の検校の姿を思い起こさせました。

楽器は演奏しないと響きがなくなり、ます。修復後の三味線を響かせるには、高度な技術と時間が必要です。藤本さんは一年以上かけて検校遺愛の三味線にいのちを注ぎこむ毎日を繰り返し、見事に甦らせてくれました。

この日は全国邦楽コンクール第1回最優秀賞の田辺頌山さん、熊本出身の尾葉石輝美さんも演奏に加わり、邦楽の魅力満喫させてくれました。



左から藤本昭子氏、尾葉石輝美氏(泰勝寺)



(右) 藤本昭子氏
(左) 藤本昭子氏、田辺頌山氏
令和二年十一月二十三日 泰勝寺



演奏会の会場 熊本市中央区黒髪の泰勝寺

選考理由

熊本出身の地歌三絃界不世出の名人と言われた、長谷幸輝校長の顕彰を通じて様々な活動をしてこられました。中でも没後百年にあたり ゆかりの三絃を一年の修復を経て初めて泰勝寺で披露するなど、その活動は邦楽のすばらしさを更に広く知らしめ、地歌の伝承に継続し熱心に取り組まれています。また25回に及び「くまもと全国邦楽コンクール」は数多くの演奏者を輩出し、伝統文化継承と熊本からの文化の発信に寄与されてこられた功績は大きいといえます。

◆特別寄稿◆

全世界的にコロナの影響が広がって一年半以上が過ぎましたが、いまだ厳しい状況が続いています。今号では当財団評議員の堀田清様に、「コロナ禍で制限を受ける中での文化活動」についてご寄稿頂きました。

「石の上にも三年」

劇団石 堀田 清

石の上にも三年でスタートした劇団も今年で五十一年目を迎えることができました。NHK放送劇団解散後若手の回員たちで、今後は舞台を目指そうと発足しました。

放送劇団の先輩(築地豊治氏)が最低三年は頑張りなさいという思いと、石ころは踏まれても形が壊れないからそんな劇団にならなさいと「石」と命名してくれました。

来るもの拒まず去るもの追わずのダンスで、まじめに遊ぼうをモットーに家庭的な雰囲気活動を続けて、気が付けば半世紀という感じです。いい仲間に出会えて、いいスタッフに恵まれ、温かいお客様の拍手に支えられたお陰だと感謝しています。

昨年七月に予定していた五〇周年記念公演は新型コロナの影響で延期を、本年五月に一年遅れて何とか開催できましたが、稽古はコロナの影響で大変苦劳しました。稽古場に入る前に検温手の消毒、マスクの着用、参加者名簿に記入したら使用するテーブル・椅子などの除菌と今までには行っていないことが日常の行動パターンになりました。

本番前にコロナ蔓延防止の影響で、其の練習会場の貸し出しが中止になり、練習会場の確保に苦劳しましたが、地区公民館のご協力で何とか練習が再開でき、感染予防に徹しての稽古です。会場が狭い関係で出番のないキャストは外で待機するなどの状況下で稽古は続きました。お客様に安心してご覧頂くためにキャスト・スタッフ六〇名全員がPCR検査を実施し、陰性であることを確認し五〇周年記念公演の本番を迎えることが出来ました。

公演が終わっても二週間は気が休まりません。お客様や公演関係者からコロナ感染者が出ないか心配でなりませんでしたが無事に二週間が経過し、有り難いことに全員異常なでしたので公演終了を宣言しました。これで公演

が終了したと安堵しました。

今までに経験したことのない公演でしたが、結果いい勉強になった記念公演でした。これからも、少しでも地域の文化向上に貢献できたらと思います。

◆公演ご案内◆

「きょうも隣に山頭火」

一〇月二日(土)午後一時開演

(五木寛之特別講演会も)

山頭火先生を偲びに行こう
「きょうも隣に山頭火」
2021.10.2(土)午後1時開演
五木寛之特別講演会も
山頭火先生を偲びに行こう
「きょうも隣に山頭火」
2021.10.2(土)午後1時開演
五木寛之特別講演会も

◆新規入会・継続入会のご案内◆

熊本芸術文化学術振興市民財団では、熊本の芸術・文化・学術を支え、応援して下さる会員を募集しています。

- 法人・団体会員 一万円
- 個人会員 五千円
- (事務局・お問合せ先)

熊本市中央区白山一丁目六番三十一号

(株式会社お菓子の香梅内)

電話 〇九六一三六六一五一一